



名称	山姥の手形
よみがな	やまんばのてがた
指定	市指定
種別	天然記念物
種類	地質
所在地	小泉町
所有者	団体
指定年月日	令和2（2020）年10月21日
時代	—
公開状況	非公開
交通案内	芸陽バス「小泉小学校」バス停 から南に約1 km

【解説】

山姥の手形は三原市小泉町の標高約100mの稜線上にある花崗岩であり、風化侵食によって形成された人の掌の形をした侵食穴のタフォニ（風化作用によって岩石内部の物質が除去されて生じた小規模の穴状の地形）である。

地元では山姥の手形と呼ばれ、伝説のある岩として親しまれている。